



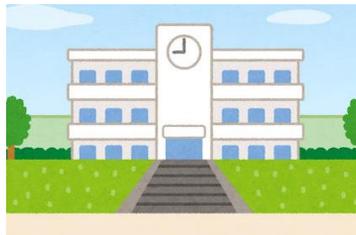
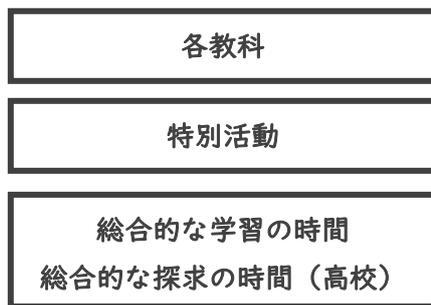
新しい年度がスタートしました。自立活動部も日々の教育活動をとおして、担任や御家庭と連携しながら、児童生徒が、一日も早く学校生活に慣れていけるよう指導、支援をすすめていきたいと思ひます。

さて、今年度も「自立活動部だより」として本校の自立活動についてお知らせします。「自立活動部だより」のタイトルは、保護者と教職員とが連携して、児童生徒の次への歩み（ステップ）を支援していきたいという意味を込めて「すてっぴてっぴ」と名付けています。どうぞよろしくお祈ひします。

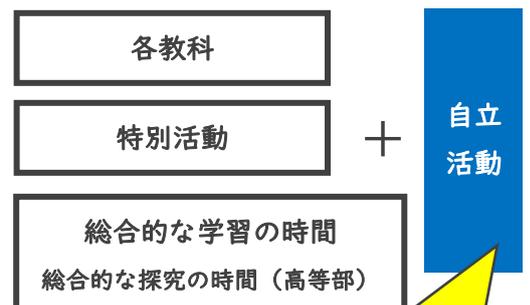
1 自立活動とは

特別支援学校には、国語科や算数科をはじめとする「各教科」、学級活動や行事を行う「特別活動」、また、問題解決能力等を育てる「総合的な学習の時間」（高等部は総合的な探究の時間）の他に、「自立活動」という特別な指導領域があります。「自立活動」の目的は、日常生活や学習場面での「つまずき」や「困難さ」を主体的に改善・克服していくことです。「自立活動」は特別支援学校や特別支援学級独自のものであり、とても重要な領域です。

<小中学校（通常学級）、高校>



<特別支援学校 特別支援学級>



特別支援学校（学級）の特徴

2 自立活動の内容

日常生活や学習場面での「つまずき」や「困難さ」は、一人一人違ひます。また、それを改善・克服していく方法も人によって様々です。特別支援学校では、一人一人の「つまずき」や「困難さ」の原因を見つけ、個人に適した方法で改善・克服していくことを目指します。つまり、自立活動の内容は一人一人のオーダーメイドで個別に組み立てることになります。

3 自立活動の指導

自立活動の内容や目標は個別に組み立てますが、実際の指導は「個別」の場合と「集団」の場合があります。集団から抽出して行う「個別」での指導が有効な場合は集団から取り出して取り組みます。対人関係を学んだり、個別で学んだことを実際の生活の場で生かしたりする時、また、似通った課題をもつグループがある時は「集団」で取り組みます。内容に応じて、特設した時間（授業）の中で取り組む場合もあれば、「日々の学習」や「日常生活」の中で実践的に指導する場合もあります。

4 専任教員の役割

本校では自立活動専任教員がおり、学級担任と協力しながらアセスメントや指導・支援をしています。「療育」「言語」「運動機能」の3つの分野に分かれています。分野を越えたアプローチの視点を大切にして、児童生徒へのよりよい指導・支援をサポートしていきます。その他、作業療法士（OT）と理学療法士（PT）の資格をもつ内部専門家と連携し、医療やリハビリテーションの視点を日々の授業に取り入れていくことも目指しています。

<自立活動専任教員紹介>

今年度このメンバーで取り組みます。どうぞよろしくお願ひします。



片野義一・渡邊洋平（運動機能）・四方浩司（理学療法士/PT）
坂地真奈美（療育）・谷本美知代（作業療法士/OT）・辻村文緒（療育）/鮫島剛・井上宏子（言語）

谷本美知代（作業療法士/OT）は、月・火・木・金曜日
（週 20 時間）勤務しています。

